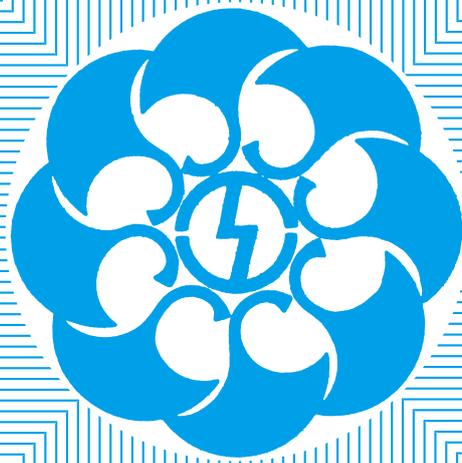


会 報



一般社団法人
神奈川県空調衛生工業会

第136号

〔城ヶ島大橋からの景観〕

城ヶ島と三浦半島を結ぶ海橋の城ヶ島大橋からは、東に房総半島、南に伊豆大島、西側には富士山、丹沢山地が一望できます。



写真提供：公益財団法人 横浜市建築保全公社 理事長 二宮 智美 氏

横浜港客船フォトコンテストでの特選をはじめ、港区観光フォトコンテスト、DanceDanceDance@YOKOHAMA フォトコンテストなど多数受賞されています。

目 次

新年のごあいさつ	会 長 有井 清	1
新年のごあいさつ	神奈川県知事 黒岩 祐治	2
新年のごあいさつ	横浜市 市長 林 文子	3
新年のごあいさつ	川崎市 市長 福田 紀彦	4
新年のごあいさつ	相模原市 市長 本村賢太郎	5
令和2年新年賀詞交換会		6
定例理事会議事報告（令和元年12月）		7
令和元年度（一社）日空調衛生工事業協会関東支部連絡協議会を 栃木県で開催		7
かながわ建設フェスタ in 日本大通りに参加		7
令和元年度技術研修見学会開催	技術委員会	8
令和元年度研修会（経営幹部）開催	研修委員会	8
横浜市公共建築工事安全パトロール	安全委員会	9
令和2年度安全スローガン選定結果		11
新会員紹介		11
親睦会報告		11
今後の行事予定		
編集後記		



新年のごあいさつ

会 長 有 井 清

新年おめでとうございます。

新しい年が会員の皆様をはじめ多くの方々にとって明るく希望に満ちた年となりますようお願いいたします。

さて、昨年も地球温暖化が原因と見られる熱波・寒波や山火事・巨大台風・竜巻・洪水等が世界各地で発生しました。わが国にも9月に台風15号、10月に台風19号が来襲し、暴風雨による被害はもちろん、高潮や河川の堤防決壊・溢水による浸水など各地に甚大な被害をもたらしました。被災された地域の方々の一日も早い復旧をお祈りいたします。また、送電網が遮断され、数週間にわたって電気が供給されない状態が今の時代に起こり得るということを目の当たりにし、自然災害に対する備えと意識をこれまでよりも数段上げていかねばならないと強く思った次第です。

今年よりいよいよパリ協定が本格的に始動します。日本の数値目標は2030年までに温室効果ガス

の排出量を2013年度比で26%削減することです。昨年12月に開催されたCOP25で協議されたルールに則り、わが国も目標達成に向けて取り組まなければなりません。

当工業会では平成21年に掲げた環境スローガン『神奈川発!!地球にいいこと、ひとつずつ』のもと、低炭素社会の実現と環境負荷の低減、更に温室効果ガスの排出削減のために地元自治体と共にフロンガスの回収・破壊を推進いたして参ります。また、今日に至るまでに培ってきた技術力をこれまで以上に活かすことはもちろん、関係行政機関が取り組まれている防災活動や減災対策の活動にも積極的且つ継続的に協力いたし、社会に貢献する企業集団、そして地域に求められる業界団体を目指して努力を続けて参る所存でございます。本年も当工業会の活動・運営に引き続きご理解とご協力を願い申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

謹 賀 新 年

令和2年 元旦



会 長	有 井 清	株 式 会 社 ヨ コ レ イ	理 事	横 山 順 二	エ ル ゴ テ ッ ク 株 式 会 社
副 会 長	土 谷 科 長	高 砂 熱 学 工 業 株 式 会 社	〃	後 藤 守 利	カ ナ レ イ 株 式 会 社
副 会 長	築 地 正 明	株 式 会 社 光 電 社	〃	河 内 一 人	新 菱 冷 熱 工 業 株 式 会 社
理 事 相 談 役	川 本 守 彦	川 本 工 業 株 式 会 社	〃	村 上 純 一	株 式 会 社 ア ク ト エ ン ジ ニ ア リ ン グ
専 務 理 事	鈴 野 和 重	(一 社) 神 奈 川 県 空 調 衛 生 工 業 会	〃	小 澤 信	株 式 会 社 朝 日 工 業 社
理 事	岩 崎 秀	須 賀 工 業 株 式 会 社	〃	小 堀 段	興 和 工 業 株 式 会 社
〃	三 澤 隆	三 沢 電 機 株 式 会 社	〃	五 十 嵐 孝 之	三 機 工 業 株 式 会 社
〃	池 野 直 規	ダ イ ダ ン 株 式 会 社	監 事	辻 村 淳 一	興 信 工 業 株 式 会 社
〃	小 松 信 幸	株 式 会 社 小 松 工 業	〃	菊 地 達 郎	文 化 興 業 株 式 会 社
〃	東 軒 秀 和	熱 研 プ ラ ン ト 工 業 株 式 会 社	〃	奥 津 勉	奥 津 勉 事 務 所
〃	小 林 範 雄	東 洋 熱 工 業 株 式 会 社	相 談 役	大 須 賀 洋	株 式 会 社 光 電 社
〃	下 山 和 則	明 和 工 業 株 式 会 社	〃	五 十 嵐 一 喜	



新年のごあいさつ

感動を、ふたたび。世界へ、神奈川で。

神奈川県知事 黒岩 祐治

オリンピックイヤーがスタートしました。先の東京オリンピックの時、私は小学4年生でした。当時、発売されたばかりのカラーテレビが学校の理科実験室に置かれていて、授業中にみんなでボクシングの試合を見ました。カラーテレビというものはこんなに美しいものかと衝撃を受けたことを今も鮮明に覚えています。

あれから56年。携帯電話でテレビが見られるのは当たり前、わざわざ店に行かなくても片手で携帯電話をいじるだけで商品は買えてしまう。ドローンが空を飛んで物は運ぶわ、簡単に空撮をこなすわ。ロボットは大活躍し、ALS（筋萎縮性側索硬化症）の患者さんが、分身ロボットを活用して、県のアドバイザーを委嘱されるまでに・・・。

あの当時、鉄腕アトムが見せてくれた未来の社会、いや、それを上回る社会が今や現実のものとなっています。当時、100歳以上の人は全国で100人を超える程度だったのが、今や7万人を超えるほどに、人の寿命も延びました。ガンとともに生きていくことも珍しい話ではなくなりました。

そんなに進歩した時代にあって、私たちは当時の日本人よりも幸せになっていると言えるでしょうか？ 刑法犯認知件数も交通死亡事故件数も火災件数も大幅に減りました。しかし、虐待、

家庭内暴力、いじめ、あおり運転、特殊サギなど、心が寒くなるようなニュースは一向に減る気配がありません。大地震、台風、大雨など自然災害はかつてより、パワーアップして我々を襲ってくるようになりました。

将来への不安感はむしろ当時より増えているのではないのでしょうか。人と人との関係性が希薄になり、コミュニティのチカラが落ちたと感じる人も増えています。

そんな中で迎える東京2020オリンピック・パラリンピック。開催自治体として昨年のラグビーワールドカップ2019™の流れを生かし、みんなで心をひとつにして、世界中に日本の良さ、日本人の素晴らしさをアピールしたいですね。そして、私たちが忘れかけていた私たち自身のパワーを再発見し、活力あふれる明るい日本、神奈川を取り戻したい！新年にあたって強くそう思う次第です。





新年のごあいさつ

令和2年の年頭にあたって

横浜市長 林 文子

あけましておめでとうございます。皆様が健やかに新年を迎えられたことを、心よりお喜び申し上げます。

2020年、オリンピック・パラリンピックイヤーが幕をあげました。横浜では、オリンピックの野球・ソフトボール、サッカーが、決勝を含め計37試合開催されます。2002年のFIFAワールドカップ、2019年のラグビーワールドカップとあわせ、横浜は、世界三大スポーツイベントの決勝戦が開催される唯一の地となります。英国代表チームの事前キャンプ地や8か国のホストタウンとして、多様な交流事業も予定しています。同時期に、「ヨコハマトリエンナーレ2020」や多彩な文化芸術のプログラムを開催し、おもてなしの心と魅力にあふれた都市・横浜を、世界に発信してまいります。

ポスト2020に向けて、みなとみらい21地区では、パシフィコ横浜ノースやホテル、音楽ホールが次々にオープンし、横浜の賑わいと活力はさらに高まります。横浜港は、「横浜ハンマーヘッド」が昨年開業し、大型連休には日本初のクルーズ客船6隻同時着岸が実現します。歩行者デッキの新設などにより、都心臨海部の回遊性を向上させ、ナイトタイムエコノミーによる賑わいも創出していきます。また、相鉄・JR直通線の開業に続き、3月には横浜環状北西線が開通し、交通ネットワークも充実します。「ガーデンネックレス横浜」の成果も活かし、2027年旧上瀬谷通信施設への国際園芸博覧会招致も見据えたまちづくりを進めてまいります。

中小企業の皆様への支援や商店街の振興にも、より一層力を注ぎます。ベンチャー企業成長支援拠点「Y O X O B O X」から新たなビジネスを創出し、「イノベーション都市・横浜」として飛躍していきます。6月末には新市庁舎がオープンし、関内・関外地区の活性化に向けて、現市庁舎街区の活用や横浜文化体育館再整備等、総合的なまちづくりを進めていきます。

市民の皆様の安全・安心な暮らしをしっかりとお支えし、将来にわたり横浜が成長・発展し続けていくため、I R（統合型リゾート）の実現に向けた検討を深めてまいります。魅力あふれる質の高い文化芸術を発信し、都市の活力につなげていくため、本格的な舞台芸術を上演できる新たな劇場整備に向けた取組を進めます。

昨年、日本列島を襲った台風では、甚大な被害が生じ、被災された市民や事業者の皆様へのご支援に力を注いでまいりました。今後もあらゆる大規模災害を想定し、市民の皆様の安全・安心な暮らしを第一に、防災・減災に取り組んでいきます。

子育て支援や教育の充実、地域包括ケアシステムの構築、健康づくり、多文化共生などを進め、誰もがいきいきと自分らしく暮らし、活躍できる社会を実現してまいります。

今年も皆様のお力添えをいただき、横浜の持続的な成長・発展に向けて力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



新年のごあいさつ

川崎市長 福田 紀彦

新年、あけましておめでとうございます。

皆様にとりまして、今年一年が平穏かつ明るい話題に満ちた良い年になりますようお願いいたします。

昨年は、全国各地で大規模な風水害が発生し、大きな被害をもたらしました。令和元年台風第十九号では、町内会・自治会、自主防災組織など地域の皆様の御協力をいただき、事前準備や対応にあたりましたが、川崎市でも浸水被害などの甚大な被害が発生しました。

今後も引き続き、被災された方々への支援や施設の復旧に全力で取り組むとともに、防災対策や自助・共助の取組を進めるなど、地域防災力の強化に向けて力を入れてまいります。

現在、川崎市では、高齢者だけではなく全ての市民の皆様を対象として、「誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現」を目指す地域包括ケアシステムを取組を、この十年で最も重要な課題として進めています。

また、地域包括ケアシステムを支えるコミュニティの形成では、地域の課題を解決するために、重要な主体である町内会・自治会の活動を引き続き支援していくとともに、誰もが気軽に集える出会いの場である「まちのひろば」の創出等、「市民創発」によるまちづくりに向けて取り組むなど、「安心のふるさとづくり」を進

めてまいります。

今年、7月から東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。川崎市でも、聖火リレーや、市内で事前キャンプを行う英国との交流事業などを通じて、皆様とともに大会を盛り上げてまいります。また、大会を契機とした、「かわさきパラムーブメント」のレガシーを未来へ遺していく取組や、外国人旅行者の増加を市内のインバウンド消費につなげていく取組など、「力強い産業都市づくり」を進めてまいります。

川崎市では、引き続き、市民や地域で活動する団体の皆様等との連携による、安心して暮らせるまちづくりの取組を推進するとともに、市民自治活動の中心となる総合自治会館の移転整備や、総合リハビリテーションセンターの整備、そして鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前区役所・市民館・図書館の移転や、横浜市営地下鉄3号線の新百合ヶ丘駅への延伸に向けた取組などに取り組んでまいります。

令和という新しい時代となり初めての新年を迎える今年、「SDGs 未来都市」として市民・企業・団体等の方々と連携・協働しながら、「成長」と「成熟」の調和する「最幸のまち かわさき」をめざし、皆様とともに取り組んでまいりますので、引き続き、御協力をお願いいたします。



新年のごあいさつ

相模原市長 本村 賢太郎

一般社団法人神奈川県空調衛生工業会の皆さまにおかれましては、希望に満ちた、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

日ごろから市政にご理解とご協力を賜りますとともに、空調・衛生や建築防災等の建築設備工事業の発展のため、技術の向上や適正な施工等に、日々ご尽力をいただいておりますことに、深く敬意を表するとともに感謝申し上げます。

今年の台風第15号や台風第19号による記録的な強風や豪雨により、被災され、いまだに不自由な生活を強いられる状況の中、新年を迎えられた方もいらっしゃると思います。市といたしましては、引き続き、市民生活と地域経済・インフラの再建等、復旧・復興に向け、全力で取り組んでまいります。

昨年4月の市長就任以来、「市民に開かれた市政」「持続可能なまちづくり」「市民が誇れるまちづくり」を基本的な考え方として、市政運営を進めてまいりました。

指定都市移行10周年を迎える本年につきましても、引き続きそうした考え方に立ち、本市が目指す将来像「潤いと活力に満ち 笑顔と希望があふれるまち さがみはら」の実現に向け、市民の皆さまとの対話、SDGsの推進、シビッ

クプライドの醸成、人権尊重の取組などを進めてまいります。

また、本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。市民の皆さまをはじめ世界中の方々に、市内がコースとなる自転車ロードレース競技の魅力にぜひ触れていただくとともに、大きな感動・夢・希望が未来へのレガシーとなるよう、様々な取組を進めてまいります。

さらに、リニア中央新幹線の新駅が設置される橋本駅周辺と相模総合補給廠の一部が返還された相模原駅周辺の一体的なまちづくりを進めていくほか、老朽化が進むインフラや公共施設の長寿命化、集約・複合化等による再編・再整備に取り組んでまいりますので、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

本年も、市民の皆さまとの対話を何よりも大切にしながら、多くの笑顔と希望を市民の皆さまに届けられますよう、全力で市政運営にまい進してまいります。

市政に対する皆さまの変わらぬご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして、実り多く、素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

令和2年新年賀詞交換会



黒岩祐治
神奈川県知事



梅沢裕之
神奈川県議会議長



桐生秀昭
神奈川県議会議員



平原敏英
横浜市副市長



横山正人
横浜市議会議長



佐藤祐文
横浜市議会議員

当工業会主催の令和2年新年賀詞交換会が1月17日(金)午前11時から、ホテル・ニューグランド・ペリー来航の間で開催されました。

当日は、黒岩神奈川県知事、平原横浜市副市長、梅沢神奈川県議会議長、横山横浜市議会議長をはじめ地元選出国會議員、自治体幹部、関係団体幹部等の80余名の来賓に、当工業会正会員、賛助会員と合わせて約290名の方々が出席しました。

賀詞交換会は、定刻に築地副会長が開会の辞を述べ、冒頭、主催者を代表して有井清会長が挨拶を行いました。有井会長は、まず、令和時代の明るさの予感と、一方で昨年の自然災害に触れ、改めて被災者の方々が一日も早く復旧されることへの祈念の言葉を述べました。

次に、工業会に関わる最近の動きとして、当工業会も構成メンバーである「神奈川県県営住宅建替えPPP/PFIプラットフォーム」の設立や、継続的に連携事業を実施している神奈川県立藤沢工科高等学校設備系の生徒さんが来年度大幅に増加することが見込まれること、さらに、重点目標としているフロン対策に関して都道府県別フロン回収率で神奈川県が全国3位であること、新たに神奈川県との協働事業として、

「フロン類回収業者紹介窓口」を設置したことなどを述べました。

また、今後の課題として、「働き方改革の実現」「人材の確保・育成」「フロンガスの回収・破壊の推進」を挙げ、会員への取組みへの協力と、参加者の安全と健康を祈念して挨拶を締めくくりました。

続いて、来賓の皆様から祝辞をいただきました。平原副市長からは、林市長の祝辞を代読する中で、横浜市の課題として災害対策、公共施設の老朽化・建替えなどを例に挙げ、工業会との連携強化と、最後にIRへの支援のお願いがありました。

黒岩知事からは、豪州の山火事等を例に、新たな災害に対応できる体制の整備と、生活者目線・県民目線で行政を進めたいとの抱負が述べられ、最後に、明るい一年をつくっていききたいと挨拶されました。

この他に、梅沢、横山両議長、当工業会顧問である桐生神奈川県議会議員、佐藤横浜市議会議員からご祝辞をいただき、日空衛の中島義勝専務理事の乾杯の発声で祝宴に移り、和やかな懇談のなか、12時30分、土谷副会長の閉会の挨拶をもって、盛会裏のうちに閉会しました。

定例理事会議事報告(12月)

12月定例理事会

令和元年12月12日(木)午4時から第564回定例理事会が開催され、次の事項が協議され、原案どおり承認されました。

【協議事項】

1. 令和2年新年賀詞交換会等開催要領について
2. 友誼団体等賀詞交換会への出席について

【報告事項】

1. 横浜市財政局契約部契約第一課との意見交換会について

2. 県営住宅建替事業へのPFI導入に向けた意見交換会について
3. 神奈川県県土整備局との懇談会について
4. 会報第136号の発行について
5. 「フロン類回収業者紹介窓口」設置について
6. 令和2年度安全スローガン選定結果について
7. 「セレクト神奈川100」の支援による工場、研究所等の新設について

【その他】

1. 新規入会希望者の取扱いについて

令和元年度(一社)日本空調衛生工事業協会 関東支部連絡協議会を栃木県で開催

令和元年11月28日(木)に栃木県宇都宮市にある「宇都宮東武ホテルグランデ」において、関東支部連絡協議会が開催され、当工業会からは8名の理事が出席しました。

協議会は午後2時に開会し、(一社)栃木県設備業協会田中会長の開催県代表挨拶に続き、黒田関東支部長が挨拶を行い、まず、今年度の自然災害を振り返り低炭素社会の構築に向けた更なる努力を訴え、現在建設業界が直面する課題として働き方改革、生産性の向上を挙げ、最後にコンプライアンスの確立への取り組みを述べ挨拶を締めくくりました。

次に、講習会に入り、「建設業のコンプライアンス」(官製談合防止法・刑法・独禁法違反行為の具体例)をテーマに、公益財団法人建設業適正取引推進機構の唐木芳博専務理事が講演を行いました。

講習会終了後、議事に入り、まず、関東支部の宮川教治事務局長から事業報告があり、続いて、日本空調衛生工事業協会中島義勝専務理事から、日空衛の活動内容が報告されました。

最後に、各支部から「関係官庁等への政策要望」の報告が行われ、会議を終了しました。



「かながわ建設フェスタ in 日本大通り」に参加



今年で2回目の「かながわ建設フェスタ in 日本大通り」が、11月24日(日)に神奈川県庁前の日本大通りを会場に開催されました。前日からの雨が開始直前まで残りましたが、親子連れを中心に8千人の来場者があり、終日子どもたちの歓声が響きました。

かながわ建設フェスタは、地元建設業界のPRのため、子どもたちに建設を身近に感じてもらうことに目的に、高所作業車への試乗体験、ミニショベルカーによるスーパーボールすくいやクレーンゲームなどの操作体験、スタンプラリーなど多彩なイベントが催されました。

当工業会のテントでは、賛助会員であるTOTO株式会社横浜支社のご協力をいただき、最新式のトイレの展示や、テレビでお馴染みの「菌の親子」のコスチュームでの写真撮影など、楽しい企画をしました。

令和元年度 技術研修見学会開催 ～東京ガス袖ヶ浦LNG基地～ 技術委員会



11月21日(木)に千葉県袖ヶ浦市にある「東京ガス袖ヶ浦LNG基地」において技術研修見学会を実施し、23名の方に参加いただきました。

当LNG基地は、1973年2月に発足し、以降46年にわたり、首都圏に生活している私たちに欠かせないガス燃料を安定的に供給する日本最大のLNG基地です。

LNGは、96%を海外からの輸入に頼っていて、6か国（ブルネイ、マレーシア、オーストラリア、カタール、ロシア、アメリカ）の原産国から年間150隻ほどのタンカーを受入、巨大なLNG貯蔵タンク群（150万kl：230

万世帯が1年間利用する量）に移送され、東西2系統のプラントで都市ガスを製造しています。

見学では、基地内にある研修施設で、都市ガスの歴史、物性、袖ヶ浦LNG基地のあゆみなどの講義を受け、さらに、LNGを利用した実験を体験しました。マイナス162℃のLNGは、カーネーションやゴムボールの物性を変えるほどであり、比重の軽い気化したガスは風船を飛ばし、床にまき散らすと瞬時に蒸発します。

講義後、構内をバスで巡回し、基地内設備を製造工程に基づき説明を受けました。

火を使う唯一の動物である我々人類は、これからも火気燃料としてのガスは必要不可欠です。今回の研修会で都市ガスの歴史、エネルギー供給の安定性、安全性が、私たちの知らないところで確保されていることを改めて認識しました。

(技術委員会 M・I 記)



令和元年度「研修会（経営幹部）」開催 ～若手人材の心をつかみ、生かすためのヒント～ 研修委員会

12月2日(月)午後1時30分からワークピア横浜において今年度2回目の研修会を開催し、84名の方に参加いただきました。

冒頭のあいさつで、有井会長は「建設業は他の産業に比べて働き方が大きく遅れている。週休2日にもこれから挑むわけで、この遅れている部分が採用活動でハンデとなっている。多くの産業で人材不足と言われている中で、このハンデを背負った状態で人材獲得競争をしていかなければならない。この研修会が今後の採用活動の一助になることを願って企画した。」と研修会の意義を強調しました。

講演は2部構成で、第1部では、神奈川県立藤沢工科大学校長の居石 博幸氏から、『人材確保への挑戦～工業高校と企業の発展のために～』をテーマに、県内工業系高校の現状や高校生の就職先決定要因の分析、今後の工業高校と企業の連携に向けた提案などを高校側からの視点で講演いただきました。

第2部では、株式会社マイナビ神奈川支社長の滝沢 純一氏から、『こうした会社が若者から支持される』をテーマに、学生の企業選択のポイントや学生が持つ企業イメージ、入社決定に影響した要因の分析、若者に対する面接の際のアドバイスなど採用活動を行う企業担当者に役立つ最新情報を提供いただきました。



横浜市建築局 横浜市公共建築工事安全パトロール 安全委員会

第49回横浜市公共建築工事安全パトロール（令和元年度）は、11月20日(水)に横浜市発注の4現場（請負数4社）について、下記を重点目標とし安全パトロールを実施しました。

【安全パトロール班編成、パトロール現場】

班	氏名	会社名	パトロール現場
1班	高木 和明	(株) 光 電 社	① 日吉台小学校第二方面校（仮称）新築工事
	駒澤 博二	川 本 工 業 (株)	② 矢向中学校増築工事
2班	名越 徳晶	(株) ヨ コ レ イ	① 山内小学校増築その他工事
	林 弘道	(株) 朝 日 工 業 社	② 綱島東小学校通級棟改修その他工事

【重点目標】

① 高所作業における安全確保 ・足場等からの転落落下防止措置 ・危険個所における墜落制止器具の取組み状況 ・足場の点検状況
② 作業ヤード等における安全確保 ・作業ヤードの整理整頓 ・作業ヤードと共用通路の区画 ・共用通路の段差等の措置
③ 仮設電気設備の安全対策

上記3項目を重点目標とし、安全パトロールチェックリストをもとにパトロールを実施しました。パトロール対象現場の平均出来高は52.3%（平成30年度30.8%）で、平均請負金額は16,792万円/件（平成30年度16,375万円/件）という状況でした。また、今年度パトロール対象の4現場（請負数4社）で、全ての現場が空調設備工事と衛生設備工事が同一発注されているという状況でした。

パトロール点検項目は、28項目/現場（平成30年度29項目/現場）で昨年と同等の状況でした。4社請負の全ての現場で当日も設備作業員が入場して作業を行っており、パトロールで数か所の作業を確認しましたが、特に問題はありませんでした。

場内は非常によく整理整頓されており、資材置場もきちんと区画され「作業場の整理整頓、通路の安全確保」がなされていることを確認しました。

また、効果的なKYT活動については、すべての現場で作業員自身によるリスクアセスメントが実施されており、効果的なKYT活動が浸透していると感じました。

点検項目の評価としては「A評価」「B評価」の比率が全体の96.5%（平成30年度98.3%）と昨年同様の高い評価であり、一部書類の不備はありましたが、全体では安全管理に対する意識が高い状態だと感じました。



◎ 横浜市公共建築工事安全パトロールに参加して

安全委員会委員
株式会社 光電社 高木和明

令和元年11月20日(水)横浜市建築局、(公財)横浜市建築保全公社、(一社)横浜建設業協会、(一社)横浜市電設協会と当神奈川県空調衛生工業会による合同安全パトロールが実施されました。

本年度で第49回を迎えた合同安全パトロールに、私は第1班として参加させて頂きました。

工事内容の傾向としては、近年既設建物の増改築工事が半数以上を占めておりましたが、今回1班がパトロールを行った2現場はともに新築工事という内容でした。工事金額においては昨年と比較しても、1物件あたりの金額が大型化しており、建設業界の今の状況を表している結果だと思いました。

今回は、『高所作業における安全確保（足場等からの転落落下防止措置、危険個所における墜落制止用器具の取組状況、足場の点検状況）』・『作業ヤード等における安全確保（作業ヤードの整理整頓、作業ヤードと共通通路の区画、共通通路の段差等の措置）』・『仮設電気設備の安全対策』の3点を重点目標に掲げ、パトロールを実施しました。

当日は、セレモニー会場である日吉台小学校第二方面（仮称）新築工事の現場事務所に総勢30名以上の方が集まり、横浜市建築局公共建築部長 鶴沢様、横浜建設業協会会長 山谷様よりご挨拶を頂き、その後、建築、電気、機械に別れパトロールを開始しました。

現場の進捗率は空調衛生設備工事は60%と比較的高く、下階では仕上げ工事が進んでいる状況



でした。作業員の数は例年より多く、実際の作業状況が確認できました。作業台の使用状況や安全通路の確保、開口部の養生及び加工場、材料置場の区画も確実に実行されており問題はありませんでした。安全書類関係も良く整備されており、送り出し教育、新規入場教育や日々のRKYなど現場受入れ体制もしっかりと運用されており良好でありました。

午後からは、矢向中学校増築工事のパトロールを実施しました。既存の校舎とは仮囲いで区画されており、作業ヤードとして周囲の安全が確保されておりました。こちらの現場も進捗率が80%と高く、建物全体で仕上げ工事が行われており、配管工が衛生器具の取り付け作業を行っていましたが特に問題はありませんでした。現場は校舎上空に高圧電線が敷設してあり、屋上の楊重作業では計画書を作成し綿密な打合せの基で作業が実施されたことが確認出来ました。安全関係書類も良くまとめられており、大きな指摘はありませんでした。

毎年合同パトロールに参加させて頂き、様々な現場で各社様の取組みを拝見した中で、安全衛生管理の書類に関しては、今後も細分化し複雑になる中、現場代理人だけではなく店社としてバックアップを行い、より良い安全管理に取り組んで頂きたいと思いました。これからも安全第一を基本理念として、労働災害の無い作業環境を目指して頂きたいと思います。

最後に、ご同行頂きました小堀委員長、五十嵐副委員長には厚く御礼申し上げます。

また、安全委員の皆様、各社現場代理人の方々、大変お疲れ様でした。



令和2年度安全スローガン選定結果 ～最優秀賞が令和2年度安全ポスターに採用～ 安全委員会

今年度初めて会員の皆様から作品を募りました安全スローガンにつきましては、70名の方から113作品という多くの応募をいただきました。厳正な選定審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点が決定しました。

選定された作品は以下のとおりです。

【選定結果】

区 分	ス ロ ー ガ ン	会社名	氏名
最優秀賞	『想定外とは言わせない！』 必ず潜む、危険の芽。	日本電技(株)	山口 輝
優 秀 賞	安全は仲間を思う気持ちから 今日も1日安全作業	熱研プラント工業(株)	内田 裕美
	慣れと油断が落とし穴 初心にかえて安全作業	興和工業(株)	塚原久美子

最優秀賞の作品につきましては、ポスターに採用し、スローガンの趣旨を生かしたポスターを独自に製作し、新年度当初に会員の皆様にお届けします。

また、選定された3作品につきましては、5月に予定されている表彰式で副賞を添えて表彰いたします。

新 会 員 紹 介

《正会員》

- ・株式会社ダイエイファシリティ (令和元年12月入会)
代表取締役 菅 宏之 〒231-0013 横浜市中区住吉町五丁目65-2
TEL 045-225-8674 FAX 045-225-8675
- ・株式会社MK設備設計 (令和元年12月入会)
代表取締役社長 小森 秀也 〒244-0805 横浜市戸塚区川上町87-1
ウエルストーン1ビル6階
TEL 045-392-6574 FAX 045-392-6557

親 睦 会 報 告



釣大会参加者の皆様

◎令和元年度後期釣大会

渉外委員会主催の釣大会が、令和元年11月15日(金)に金沢漁港「三春丸」において6名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。

優 勝

福 山 和 弘 [川 本 工 業 (株)]

準優勝

佐 藤 和 男 [文 化 興 業 (株)]

SINKO



ラインアップ豊富な
空調機

自社対応の
室外機

ワンストップ対応の
メンテナンス

3つの柱で快適環境を創造。

- 中規模ビルから生産工場まで、様々な風量・静圧・能力設計に対応。
- 外気冷房、CO2コントロールなど、制御システムは50,000パターンを用意。
- 室外機の運転範囲が広く、過酷な温度条件でも安定した空調が可能。
- 負荷に応じて風量を20パーセントまで絞り、省エネに貢献。
- タッチパネル操作やWeb監視で、最適な制御・運用管理を提案。
- 全国に広がる拠点で、質の高いワンストップサービスを提供。

HEAT PUMP AIR HANDLING UNIT SERIES
ヒートポンプ空調機Ⅱ

© 新晃工業株式会社
www.sinko.co.jp

azbil
人を中心としたオートメーション

あすみる、
アズビル。

オートメーションで未来を描く
アズビルは、計測・制御技術を駆使して人々が快適な暮らし、安心して働くことができる環境を100年以上にわたって創り続けてきました。
これからも、お客さまに寄り添い、お客さまの現場における価値の創造により、安心して快適な未来の社会を描きます。

アズビル株式会社
ビルシステムカンパニー横浜支店
〒220-8144 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1横浜ランドマークタワー
TEL:045-224-1550 www.azbil.com/jp/

DAIKIN

“うるるとさらら”は
おかげさまで発売20周年です。



冬の乾燥に、給水いらすの うるおい加湿。

加湿ができるエアコンは
——ダイキンだけ*

うるさらX
2019年 11月発売

無給水加湿&加湿水洗浄を搭載した
快適フラッグシップモデル「うるさらX」

うるさらmini
2019年 12月発売

無給水加湿でうるおい暖房
寝室などにおすすめ「うるさらmini」

*2019年9月20日現在 家庭用エアコンにおいて、当社独自の無給水加湿技術を採用。

ダイキンHVACソリューション東京株式会社
神奈川営業本部 (045) 225-3871

お客様総合窓口 **ダイキンコンタクトセンター**
<https://www.daikincc.com>



つくる人に最適を。
くらす未来に快適を。

kanzai

日本管機センター株式会社

管工機材・住宅・ビル設備機器・プラント機材・国内外総合商社

本社：〒104-8401 東京都中央区八丁堀 2-24-3 PMOビル
TEL 03(5541)5111(大代表) FAX 03-5541-5115

配送センター：〒136-0082 東京都江東区新木場 3-2-4
TEL 03(3522)1261(代表) FAX 03-3522-1265



根岸営業本部 〒231-0836 横浜市中区根岸町1-13
電話(045)623-1991 FAX(045)621-5249

元町事業部 〒231-0861 横浜市中区元町5-216
電話(045)680-0218 FAX(045)651-1892

株式会社 **横滝**

住宅設備機器と管工機材総合卸商社

業界初 **スマホで楽々点検!**

スマホをタッチするだけで、
給水ユニットの運転状態が、
簡単に確認できる!

デザイン一新!!

フレッシャー-LINK

搭載

モデルチェンジ!
フレッシャー 3100
直結給水ブースタポンプ



F3100型



PNAGM型

専用アプリ

フレッシャー-LINK



Google Playから
アプリをインストール

※Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。



スマホを
タッチするだけ!



株式会社 荏原製作所

神奈川支店 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 1-9-1
☎(045)472-0611

<http://www.ebara.co.jp/>

※「○○○型」の表示は当社の機種記号です。

高効率を追求するテラル
テラルの新コンセプト「Triple e」による

TERAL



直結増圧給水ユニット

MC5型

機種選定・水理計算書のご用命は、弊社横浜営業所までお気軽にご相談ください。



第12回エコプロダクツ大賞
エコプロダクツ大賞審査委員長
特別賞受賞



省電力 **30%** 削減!
(当社比)

年間消費電力量比較



現行型MC4

新型MC5

30% Down

【計算条件】 某マンション 総戸数111戸、地上13階建ポンプ口径50A、ポンプ出力7.5kW

軽量 **32%** ダウン
最大 60kg 低減
新型 MC5-5050-2.2AD 125kg
従来型 MC4-5050-2.2D 185kg

低振動

防振ゴムにより
ポンプ振動を絶縁



静音 **5dB** ダウン
騒音が最大 (当社比)

テラル株式会社 横浜営業所 〒221-0031 横浜市神奈川区新横浜町1丁目1-25 テクノウェイブ100 10F
www.teral.net TEL.045-450-5351 FAX.045-450-5352

東京・大阪など全国9支店、47営業所

今後の行事予定

○ 技術委員会主催「令和元年度 技術講演会」

日 時：令和2年2月17日(月) 午後2時～

場 所：ワークピア横浜

講演内容：機械設備工事施工マニュアル 部分改訂説明会他

○ 渉外委員会主催「令和元年度後期麻雀大会」

日 時：令和2年2月28日(金)

場 所：麻雀クラブ「ロン」

○ 第53回定時総会

日 時：令和2年5月15日(金) 午後2時～

場 所：ロイヤルホールヨコハマ

○ 令和元年度後期ボウリング大会3月開催予定

※日程等詳細は、確定次第開催通知をお送りいたします。

編集後記

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては良き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、今年の干支は「子」です。子年は十二支の最初の年でもととは「孳（し）」といいまして「孳」は増えるという意味があり、新しい生命が種の中で芽生え始める状態を指しております。

その為すべての始まりと、未来への可能性を秘めているそうです。

今年は、日本でオリンピック・パラリンピックが開催されます。日本代表選手が活躍し、良い成績を残してくれることを期待しております。

また建設業においては、人手不足等の問題がありますが様々な取組により解消され建設業界がさらに発展していく年になればと願っております。

会員の皆様にとって素晴らしい1年になりますよう祈念いたします。 (Y.H)

会 報

第136号 令和2年1月31日

一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会

横浜市中区海岸通4丁目18番地 TEL 045 (201) 9536 (代)

URL: <http://www.shinkuei.or.jp> E-mail: info@shinkuei.or.jp

情報委員会 / 印刷 株式会社 ワールドフジ